



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー

コード番号 4922 URL <https://www.kose.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 中田 仁典 TEL 03-3273-1511

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	81,721	1.6	13,334	△24.2	13,011	△30.4	8,420	△37.1
2019年3月期第1四半期	80,472	13.8	17,592	37.3	18,697	44.4	13,393	55.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 9,146百万円 (△7.9%) 2019年3月期第1四半期 9,936百万円 (7.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	147.62	—
2019年3月期第1四半期	234.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	299,143	228,364	70.9	3,717.30
2019年3月期	300,162	224,841	69.6	3,660.77

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 212,047百万円 2019年3月期 208,823百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	85.00	—	95.00	180.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	95.00	—	95.00	190.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	174,200	8.2	31,500	2.6	31,800	△2.5	20,900	△5.9	366.38
通期	352,000	5.7	54,000	3.0	54,700	1.3	37,100	0.3	650.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	60,592,541株	2019年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,549,024株	2019年3月期	3,549,024株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	57,043,517株	2019年3月期1Q	57,043,675株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）

セグメントの名称	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	61,725	76.7	64,134	78.5	2,409	3.9
コスメタリー事業	18,117	22.5	16,646	20.4	△1,471	△8.1
その他	630	0.8	940	1.1	310	49.3
売上高計	80,472	100.0	81,721	100.0	1,249	1.6

区分	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	17,592	21.9	13,334	16.3	△4,258	△24.2
経常利益	18,697	23.2	13,011	15.9	△5,685	△30.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,393	16.6	8,420	10.3	△4,972	△37.1

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）における日本経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな景気回復の動きがみられました。化粧品業界におきましては、2019年度の経済産業省化粧品出荷統計（暦年）によりますと、販売個数・販売金額ともに前年を上回りました。また、海外において当社グループが主に事業展開しているアジア・米国経済につきましては、アジアでは弱さがみられましたが、米国では着実な景気回復が続きました。

このような市場環境の中、当社グループは、創業80周年に向けて更なる成長ステージを目指した中長期ビジョン「VISION 2026」を掲げ、企業の成長を支える強い経営基盤をベースとしながら、そのリソースを最大限に活用し、独自の価値創造を絶えず行っていくことにより、グローバルかつボーダレスな成長を目指してきました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、アジアでの販売が好調だった結果、売上高は前年同期比1.6%増の81,721百万円（為替の影響を除くと前年同期比1.8%増）となり、第1四半期としては過去最高を6期連続で更新しました。なお、連結売上高に占める海外売上高の割合は30.8%となりました。

利益につきましては、売上原価率の上昇に加え、マーケティング費用の積極的な投下等により販管費が増加した結果、営業利益は13,334百万円（前年同期比24.2%減）、経常利益は13,011百万円（同30.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,420百万円（同37.1%減）となりました。

化粧品事業につきましては、ハイプレステージ領域において、「デコルテ」が海外での売上を大幅に伸ばしたほか、㈱アルビオンは発売45周年を迎えた「薬用スキンコンディショナー エッセンシャル」の限定製品を発売しました。米国市場での競争環境が厳しいタルト社は、前年並みの売上高となりました。また、プレステージ領域においては、メイクアップブランド「エスブリーク」や高効能特化型ブランド「ONE BY KOSE」から新製品を投入したことに加え、和漢植物エキス配合のスキンケアブランド「雪肌精」のプロモーション展開を強化するなど、各ブランドの育成を推進しました。これらの結果、当事業の売上高は64,134百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は15,668百万円（同8.5%減）となりました。

コスメタリー事業につきましては、お客様のニーズに応えた製品開発に努めるとともに効果的な広告宣伝・販売促進活動を実施しましたが、前期における新製品投入の反動等の影響もあり、当事業の売上高は16,646百万円（同8.1%減）、営業損失は1,203百万円（前年同期は1,411百万円の営業利益）となりました。

その他の事業につきましては、アメニティ製品の販売やOEM生産の受注が増加した結果、売上高は940百万円（同49.3%増）、営業利益は275百万円（同22.2%減）となりました。

地域別売上高（外部顧客に対する売上高）の状況

	前第1四半期		当第1四半期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
日本	59,711	74.2	56,570	69.2	△3,140	△5.3
アジア	10,761	13.4	14,897	18.2	4,136	38.4
北米	9,077	11.3	8,708	10.7	△369	△4.1
その他	922	1.1	1,545	1.9	623	67.6
売上高計	80,472	100.0	81,721	100.0	1,249	1.6

<日本>

日本市場につきましては、主要な販売チャネルでマイナス成長となりました。ハイプレステージ領域のブランドを中心に展開する百貨店チャネルでは、スキンケアカテゴリーの売上が伸び悩んだことに加え、インバウンド需要も前年と比べ減少しました。ドラッグストアチャネルやGMSチャネルでは、メイクアップブランド「エスプリーク」は売上を拡大しましたが、和漢植物エキス配合のスキンケアブランド「雪肌精」や高効能特化型ブランド「ONE BY KOSÉ」などスキンケアカテゴリーのブランドに加え、コーセーコスメポート㈱が展開する主要ブランドやメイクアップブランド「ヴィセ」など、コスメタリー事業のブランドの売上が減少しました。これらの結果、売上高は56,570百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

<アジア>

アジア市場につきましては、各国における既存チャネルの育成に加え、免税店やEコマースなど新販路の開拓を強化することにより、日本でのインバウンド需要との連携を図るなど、グローバルかつボーダレスなお客さまづくりを推進した結果、事業展開しているほぼ全ての国と地域でプラス成長となりました。特に、重点グローバルブランドの「デコルテ」や高級化粧品を扱う㈱アルビオンなど、ハイプレステージ領域のブランドがアジア全域で売上を拡大したほか、免税チャネルの成長が著しい韓国、Eコマースチャネルの急成長が続いた中国が牽引役となった結果、売上高は14,897百万円（同38.4%増）となりました。

<北米>

北米市場につきましては、メイク市場における競争環境の急速な変化などの影響を受けました。なお、米国タルト社は10代から20歳前後の「Z世代」をターゲットとした新ブランド「sugar rush」を導入するなど、新たな顧客層の拡大に取り組みました。これらの結果、売上高は8,708百万円（同4.1%減）となりました。

<その他>

その他の地域につきましては、米国タルト社が欧州の流通企業と新規取引を開始するなど、新たな市場開拓を推進した結果、売上高は1,545百万円（同67.6%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月26日に発表しました通期連結業績予想は変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	94,385	91,986
受取手形及び売掛金	44,773	42,106
商品及び製品	34,121	35,264
仕掛品	3,005	3,666
原材料及び貯蔵品	23,655	27,131
その他	5,383	3,759
貸倒引当金	△83	△86
流動資産合計	205,241	203,828
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,960	44,384
減価償却累計額	△21,303	△21,651
建物及び構築物（純額）	19,657	22,732
機械装置及び運搬具	17,012	17,738
減価償却累計額	△12,299	△12,617
機械装置及び運搬具（純額）	4,713	5,120
工具、器具及び備品	39,199	40,470
減価償却累計額	△32,097	△32,742
工具、器具及び備品（純額）	7,101	7,727
土地	17,566	17,565
リース資産	1,954	1,985
減価償却累計額	△1,117	△1,178
リース資産（純額）	837	807
建設仮勘定	7,020	3,981
有形固定資産合計	56,896	57,934
無形固定資産		
ソフトウェア	2,296	2,503
のれん	6,675	6,479
その他	6,697	6,434
無形固定資産合計	15,669	15,417
投資その他の資産		
投資有価証券	11,664	12,305
繰延税金資産	7,574	6,380
その他	3,361	3,513
貸倒引当金	△245	△237
投資その他の資産合計	22,355	21,961
固定資産合計	94,921	95,314
資産合計	300,162	299,143

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,764	11,670
電子記録債務	19,086	20,296
短期借入金	600	636
リース債務	228	226
未払金	14,371	9,554
未払費用	10,716	6,271
未払法人税等	7,661	2,723
未払消費税等	632	1,557
返品調整引当金	2,132	1,921
その他	913	6,884
流動負債合計	66,107	61,744
固定負債		
リース債務	837	825
役員退職慰労引当金	2,846	2,867
退職給付に係る負債	4,435	4,149
その他	1,094	1,191
固定負債合計	9,213	9,034
負債合計	75,321	70,778
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
利益剰余金	207,821	210,822
自己株式	△9,102	△9,102
株主資本合計	203,566	206,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,750	3,821
為替換算調整勘定	1,781	2,008
退職給付に係る調整累計額	△275	△350
その他の包括利益累計額合計	5,256	5,479
非支配株主持分	16,018	16,316
純資産合計	224,841	228,364
負債純資産合計	300,162	299,143

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
売上高	80,472	81,721
売上原価	19,371	20,325
売上総利益	61,101	61,396
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	4,298	5,658
販売促進費	13,260	14,941
運賃及び荷造費	3,255	3,552
給料及び手当	12,006	12,686
退職給付費用	315	198
法定福利費	1,769	1,803
減価償却費	915	975
その他	7,686	8,246
販売費及び一般管理費合計	43,508	48,062
営業利益	17,592	13,334
営業外収益		
受取利息	69	100
受取配当金	100	72
受取手数料	0	35
還付消費税等	—	184
特許実施許諾料	19	12
為替差益	861	—
補助金収入	25	19
雑収入	50	77
営業外収益合計	1,127	501
営業外費用		
支払利息	0	0
支払手数料	5	5
投資事業組合運用損	—	15
為替差損	—	792
雑損失	16	9
営業外費用合計	22	823
経常利益	18,697	13,011
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	—	0
関係会社株式売却益	925	—
特別利益合計	926	1
特別損失		
固定資産処分損	40	126
投資有価証券評価損	6	—
特別損失合計	47	126
税金等調整前四半期純利益	19,576	12,886
法人税、住民税及び事業税	3,804	2,770
法人税等調整額	1,629	1,198
法人税等合計	5,433	3,969
四半期純利益	14,143	8,916
非支配株主に帰属する四半期純利益	749	496
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,393	8,420



（四半期連結包括利益計算書）  
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
四半期純利益	14,143	8,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	450	68
為替換算調整勘定	△4,676	240
退職給付に係る調整額	19	△78
その他の包括利益合計	△4,206	230
四半期包括利益	9,936	9,146
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,222	8,643
非支配株主に係る四半期包括利益	714	503

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	61,725	18,117	79,842	630	80,472	—	80,472
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	267	267	219	487	△487	—
計	61,725	18,385	80,110	849	80,960	△487	80,472
セグメント利益	17,129	1,411	18,540	354	18,895	△1,302	17,592

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメント間取引消去	38
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,340

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位：百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
59,711	10,761	9,077	922	80,472

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	64,134	16,646	80,781	940	81,721	—	81,721
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	155	155	△155	—
計	64,134	16,646	80,781	1,096	81,877	△155	81,721
セグメント利益又は損失(△)	15,668	△1,203	14,464	275	14,740	△1,405	13,334

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメント間取引消去	△5
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,400

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

（単位：百万円）

日本	アジア	北米	その他	計
56,570	14,897	8,708	1,545	81,721